

「日米等エネルギー技術開発協力事業」
研究資金制度プログラム

評価用資料

平成 28 年 1 月 7 日

経済産業省 産業技術環境局 産業技術政策課 国際室

国際標準課

制度名	日米等エネルギー技術開発協力事業			
上位施策名	新エネルギー・省エネルギー			
担当課	経済産業省産業技術環境局産業技術政策課国際室及び国際標準課			
<p>制度の目的・概要</p> <p>日米首脳合意に基づき、経済産業省と米国エネルギー省が策定した「日米クリーンエネルギー技術アクションプラン」のうち、基礎科学及び再生可能エネルギー技術分野において、効率的な研究施設の相互利用、研究情報の交換等を通じた共同研究プロジェクトを実施する（日米クリーン・エネルギー技術協力事業）。</p> <p>また、標準化が必要な分野においては、日米のそれぞれの強みを活かしつつ、標準化を目指す共同研究を実施し、優れた技術の標準化及びその技術の普及を図る（日米先端技術標準化研究協力事業）。</p>				
予算額等（委託）				（単位：千円）
開始年度	終了年度	中間評価時期	事後評価時期	事業実施主体
平成 22 年	平成 26 年度	平成 24 年度	平成 27 年度	(国) 産業技術総合研究所、(一社) 電子情報技術産業協会(日米先端技術研究協力事業)、(公財) 地球環境産業技術研究機構、グリーンアースインスティテュート株式会社(セルロース系バイオマスからの航空機燃料素材製造に関する研究開発)
H24FY 執行額	H25FY 執行額	H26FY 執行額	総執行額	総予算額
556,184	919,150	903,064	3,327,325	3,565,507

目標・指標及び成果・達成度

(1) 全体目標に対する成果・達成度

事業アウトカム指標及び事業アウトプット指標、それぞれの計画値、実績値及び達成度について記載する。

【日米クリーン・エネルギー技術協力事業等】

事業アウトカム指標	計画	実績	達成度
本事業は 2030 年の事業化を目途とした基礎研究を実施し、先端クリーン・エネルギー技術の迅速な確立・普及を推進することにより CO ₂ を削減するため、事業アウトカムの指標としては、CO ₂ 削減目標 (t-CO ₂ /年)を設定した。	(中間評価時)		
	(事業目的達成時) 2030 年で、CO ₂ 削減 220 万 (t-CO ₂ /年)	2030 年の国内での各クリーンエネルギー・省エネルギー技術導入量より CO ₂ 削減効果の試算結果より達成可能と判断	達成可能と判断

【日米先端技術標準化研究協力事業】

事業アウトカム指標	計画	実績	達成度
本事業は、エネルギー環境技術分野をはじめとする先端技術において、日米研究機関間の協力による研究及び標準化活動を推進することを目標としている。 成果目標及び成果実績（アウトカム）指標：国際標準化提案件数	(中間評価時)		
	(事業目的達成時)	国際標準化提案 8 件 (うち発行段階 3 件)	達成

【日米クリーン・エネルギー技術協力事業等】

事業アウトプット指標	計画	実績	達成度
本事業では、アクションプランに記載された研究開発項目を日米共同で個別に実施することが求められている。アクションプラ	(中間評価時)	研究成果においては、論文、対外発表の数は、十分なものがえられている。研究成果においては米	順調に進行

<p>ンに記載された研究テーマはクリーン・エネルギーに関する基礎研究が主目的であり、人工光合成技術やバイオマス燃料の利活用技術等、エネルギーの創成技術から利用技術までの多岐にわたる。</p> <p>これら成果が得られるまでに長期間を要し、かつ、多岐に渡る個別の基礎研究の遂行が目的である本事業では、日米との効果的な協力体制の構築に加え、個別の研究開発の目標達成度をアウトプットの目標値とした。</p>		<p>国との協力による相乗効果で、注目度の高い研究成果が出始めており、共同による論文執筆が増えつつある。</p> <p>また、協力体制構築については、これまでの3年間で、日米アクションプラン実現のための国際協力を新たに構築してきた。研究者が産総研のノウハウを持って長期で渡米して米国での共同実験を実施していることは、共同研究の体制構築に役立っている。</p>	
	(事業終了時)	別添資料参照	ほぼ達成

【日米先端技術標準化研究協力事業】

事業アウトプット指標	計画	実績	達成度
<p>目標達成度を測定・判断するための指標として、「活動指標及び活動実績（アウトプット）」が設定されている。</p> <p>本事業は、エネルギー環境技術分野をはじめとする先端技術において、日米研究機関間の協力による研究及び標準化活動を推進することを目標としている。</p>	<p>(中間評価時)</p> <p>活動指標及び活動実績（アウトプット）：実施テーマ数（8件）</p>	<p>実施テーマ数：8件</p> <p>国際標準化提案件数：2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナノテクノロジー分野(薄膜膜厚計測) ・環境・エネルギー分野(3D) <p>既に2件の国際標準化提案が行われ、研究成果について論文・口頭発表も行われており、今後の国際標準化提案件数も増加する見込みである。</p>	<p>順調に進行</p>

	(事業終了時)	別添資料参照	ほぼ達成
--	---------	--------	------

(2) 目標及び計画の変更の有無

特になし。

<共通指標>

論文数	うち、査読付き論文数	特許出願件数 (国内)	特許出願件数 (外国)	ライセンス 供与数	国際標準への 寄与
291	219	28	5	0	6

研究資金制度プログラム

別添資料参照